

第43号

発行
北九州地区
信徒使徒職協議会
会長 追立泰治
編集
北九州信徒協広報部
担当司祭 深堀勝人
担当委員 瀬下幸弘

カトリック
北九州地区
信徒協だより
News Bulletin for Catholic Believers' Association in Kita-Kyushu Area

主な内容

- 1面 第16回北九州平和の集い
浜口司教を迎えて
- 2面 浜口司教メッセージ
平和の集い義援金
- 3面 追立会長のよびかけ
親睦レク案内 他
- 4面 正義と平和講演録Vol.7
聖書部会講座のお知らせ

テーマ

日々の生活の中で、 キリストの平和を実現しよう

日本カトリック平和旬間に合わせて、第16回北九州平和の集いが8月7日(日)に開催されます。メイン講師はカトリック大分教区長の浜口末男司教様です。実行委員会では、6月24日(金)に浜口司教様を表敬訪問し、北九州平和の集いの歩みなどを説明しました。丁寧に対応された浜口司教様は、集いに向けての一言メッセージを既に準備されており、優しさの中にも、平和の集いに向けた熱い思いが伝わってきました。

浜口司教



第16回北九州平和の集い 8月7日(日) 浜口末男司教様(大分教区長)を迎えて

※訪問に先駆けて、担当司祭の深堀勝人神父様が、資料を浜口司教様に届けておられたのでスムーズに話し合うことができました。

【藤瀬実行委員長】

司教様、このたびは平和講演のお引き受けをありがとうございます。北九州平和の集

いは今年で16回目となり、今年のテーマは「日々の生活の中でキリストの平和を実現しよう」です。ポスターも作成して、メイン講師の写真を掲載していますので、写真を撮らせていただければと思います。

【浜口司教】

講演を引き受けたのですが、まだ先の事だろうと思っていました。今日来られると聞いて、あわてて一言メッセージ(2面掲載)を作りました。(笑)

【深堀神父】

ありがとうございます。ポスターにメッセージと写真を

一緒に掲載します。

【実行委員】

昨年、浜口司教様に講演依頼をしましたが、日程が合わず川口神父様をご紹介下さいましたことを感謝申し上げます。今年は深堀神父様と相談してみようとなりました。

【浜口司教】

昨年は戦後70年の司教団メッセージが出たのですが、その話をするにはもう遅いでしょう。(笑) 今秋にまた司教団から冊子が出される予定です。特別聖年と合わせて話そうかと思えます。社会問題の専門的な事は不得手な

ので話せないのですけどね。(笑) ただアウシュビッツに行きたいと思って、ワールドユースデーに参加し、8月5日に帰ってきます。現地を訪れて私の心の中にいろいろな変化があるかもしれない。それも話せるのじゃないかな。今はそう思っています。でも話がちやごちやになるかな？(笑) 整理して話さないといけませんね。特別聖年と新しい司教団メッセージとアウシュビッツのことと。

教会が社会問題に触れるとなれば難しい面もありますね。たとえば「原発反対」と言ってもそれはあくまでも福音に照らし合わせてのことと

(二面へ続く)



説明する実行委員長(左) 中央は深堀神父

「皆で集う」ことが大切

北九州地区信徒使徒職協議会

会長 追立 泰治

熊本地震から3ヶ月、直後ほどではありませんが、今でも時々やってくる余震に、被災された方々はなかなか心が休まらないはず。熊本の2大シンボル、熊本城と阿蘇。その両方が大被害を受けてのショックも大きいと思います。市民生活は戻りつつあるとはいえ、まだまだ避難生活をされてる方はたくさんいらっしゃいます。

熊本は福岡教区です。熊本の兄弟姉妹も多くの方が被災されています。現状は教区報や教区ホームページでも情報がゲットできます。各教会、個人でも取り組んでおられるでしょうが、被災された方々の痛み・苦しみを少しでも分かち合えるように祈りや献金、ボランティアの協力をお願いします。

さて、今年も平和の集い(8月7日)が近づいてきました。午前中のミサでは北九

州地区が一つとなり、東日本・熊本両大震災、そして福島に思いをはせながら世界の平和を願い、共に祈りたいと思います。そして、午後は小倉教会で、大分教区浜口司教様のお話しを聞き、みんなが平和への思いを分かち合いますよ！

また、レクリエーション大会は10月10日(月)です。今年には地区の全教会からの参加があるように願っています。「皆で集う」ことが大切だと思います。秋の青空(を願う)の下、みんなで楽しく過ごしましょう！

今年2月の教区信徒協研修会はとて好評でした。今年度も来年2月くらいで開催予定です。次回の会議で検討します。ご期待ください。

次回の北九州地区信徒協代表者会議の議題は、次期会長の人選と規約についてです。宮原司教様もいらっしゃる予定です。

ワールドユースデー

北九州地区から1人(教区全体で5人)参加予定です。参加費用が多額になりますので、北九州信徒協から5万円補助することになりました。(青年部担当 北川卓也)

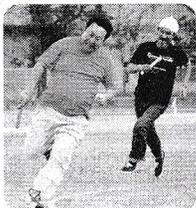
典礼部会研修会

3月21日、聖母トラピスチヌ修道院(伊万里)を訪問しました。典礼部会担当の牧山美好神父や深堀勝人神父・マヘル神父他40人が参加し、祈りと黙想の研修を行いました。詳細は下記をご覧ください。(典礼部担当 谷口初男)

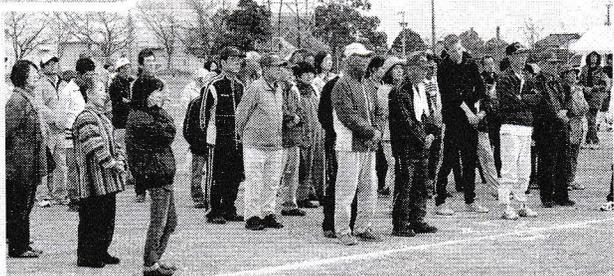
<http://hukuoka.catholic.jp/kita16tenrei.html>

10月10日(月)体育の日

親睦レクリエーション



みんな集まろうよ



写真は昨年の様子

同じものを使用します。
・奉納物は、信仰育成と調整しながら作ってください。作品を小倉教会の平和祈願で奉納し、奉納したものは各教会で持ち帰ってください。
平和献金関係
・献金は東チモールに全額送りますが、8月7日当日に熊本地震のための募金箱も設置を予定しています。
【実行委員会より】
・2部の小倉教会は11時30分開場ですが、10時30分からテント設営致します。ご協力ください。
・身近な取り組み発表の中で、山内保憲神父様から東チモール支援のスピーチをいただきます。
・子どもの広場は、よきサマリア人から発展して作品をつくる予定です。子どもの共同祈願は新田原教会。
・平和の集いに多くの方がご参加くださることを願っています。各教会で呼びかけをされて、8月7日の平和の集いでみなさまとお会いできることを楽しみにしています。よろしくお願います。



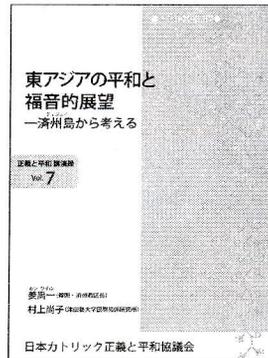
広報部会より

日本カトリック正義と平和協議会より小冊子出版

東アジアの平和と福音的展望

チエンゴド
—— 濟州島から考える

正義と平和協議会
講演録 Vol. 7



正義と平和協議会会長 勝谷 司教より(要旨)

この冊子の前半は、2014年9月に正義と平和全国集会福岡大会で基調講演されたカン・ウイル司教の講演録です。後半は津田塾大学国際関係研究所の村上尚子さんが執筆しています。

A5判60ページ
1冊150円



信徒協だよりでは、カン・ウイル司教様の講演を連続掲載してきましたが、連載を終了致します。冊子は平和の集いでも販売します。

聖書部会より

年間聖書講座

2016年度の北九州信徒協主催聖書講座は、「いつくしみの特別聖年」に因んで「聖書が語る神のいつくしみ」を年間テーマにあげて5名(森山神父、ベリオン神父、染野神父、牧山神父、山元神父)を講師に招いて話をしていたいでいる。

その第3回講座(6月26日)はご受難会の染野治雄神父を招いて「マタイに語られる、神のいつくしみ」と題して話していただいた。

染野神父はその冒頭に教皇フランシスコ公布大勅書「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」の第15項(「すべての人々に心を開く」)を「マタイ」を引き合いにして詳しく解説してくださいました。その内容を第15項と照合して簡潔にまとめると以下の通り。

◆ ◆ ◆
イエス様は神殿のなかに閉じ込められていた神をすべて

の人々のために解放して下さった(マタイ24:1-2)。私たちは、主の群衆への深い憐れみを忘れず、主のために働く者となって(マタイ9:35)し、自己の内にある偏見の隔たりをなくすように努めねばならない(マタイ15:カナン)の女の信仰、マタイ25:45)。そして、私たちキリスト者はイエス様の心、すなわち「愛」と「いつくしみ」に倣い、全世界の貧しい人々に対して身体的または精神的な慈善のわざに励み、世の光となつて人々の前に輝く存在となるべきである(マタイ5:13-16)。

◆ ◆ ◆
今後の予定
聖書講座(於:小倉教会)
は今後、
9月11日に牧山神父(「ルカに語られる、神のいつくしみ」)

◆ ◆ ◆
11月20日に山元神父(「いつくしみの聖年の閉幕にあたって」)がお話をしてくださいます。ご期待ください。

編集室の窓

*歴史を振り返りましょう。14年前のことですが…。

信徒協だより第1号発行は、2002年6月です。トップ記事は「北九州地区研修会 四年間のまとめ」となっています。つまり、北九州地区信徒協は1998年から4年間に亘り「明日の教会を考える」という一貫したテーマで研修を積み重ねてきたことが垣間見えます。総括の1つに「社会に開かれた教会を目指して、社会の諸問題に積極的に目を向け、活動していく姿勢が大切ではないでしょうか」とあります。また、専門部会(聖書・典礼・青年・社会福音・広報等)の発足を指し、北九州地区司祭団と話し合いながら歩もうとする足跡も見えます。(信仰育成はその2年後発足) 2面には「北九州地区マップ」があり、地区13教会とパリミッシヨン会の司祭たち15人の名前が記されています。そのうち、2つの教会を兼任されている司祭は2人です。…それから14年。「今の教会を考える時です。(瀬下)